



平成 20 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 サダマツ  
代表者名 代表取締役社長 貞松隆弥  
( J A S D A Q ・ コード 2736 )  
問合せ先  
役職・氏名 執行役員管理部長 磯野紘一  
電話 03—5768—9957

### 平成 20 年 8 月期中間 (連結・単独) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成20年8月期中間期(平成19年9月1日～平成20年2月29日)の業績予想について、平成19年10月26日付当社「平成19年8月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に下記のとおり差異が発生する見込となりました。

#### 1. 平成 20 年 8 月期中間期 連結業績予想の差異等

##### (1) 中間期 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	4,000	100	50	30
今回修正 (B)	4,475	117	85	115
増減額 (B - A)	475	17	35	85
増 減 率	11.9%	17.0%	70.9%	285.7%

##### (2) 差異発生理由

売上高につきましては、都市型店舗の売上高が当初想定以上に増加したことに加え、子会社の業種変換に伴い既存事業にかかる部材の販売をおこなったため、44億75百万円(当社予想比：4億75百万円の増加 11.9%増)となりました。また、上記子会社の売上高の計上方法の確定に時間を要したため、本日の開示となりました。

営業利益につきましては、本社機能統合による経費削減等の効果により、117百万円(当社予想比：17百万円の増加 17.0%増)となる見込みであります。

経常利益につきましては、上記の理由に加え当初市場金利の上昇による支払利息の増加を見込んでおりましたが、市場金利が上昇しなかったため、85百万円(当社予想比：35百万円の増加 70.9%増)となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記の理由に加え中長期計画の見直しを行い、中長期での利

益増加が見込まれることにより、当中間期において利益規模の増加傾向を踏まえた繰延税金資産に対する評価性引当金を見直し、法人税等調整額（益）61百万円を計上することとなり、1億15百万円（当初予想比：85百万円の増加 285.7%増）となる見込みであります。

(3) ご参考：前期の実績（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期 (9/1～2/28)	4,016	47	39	△214
通期 (9/1～8/31)	8,018	△165	△215	△546

2. 平成20年8月期中間期 単独業績予想の差異等

(1) 中間期（平成19年9月1日～平成20年2月29日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	3,900	110	60	40
今回修正 (B)	4,131	129	109	128
増減額 (B－A)	231	19	49	88
増減率	5.9%	18.1%	82.1%	221.8%

(2) 修正理由

売上高につきましては、都市型店舗の売上高増加が郊外型店舗の売上減少を吸収し、41億31百万円（当社予想比：2億31百万円の増加 5.9%増）と好調に推移しました。

営業利益につきましては、本社機能統合による経費削減等の効果により、1億29百万円（当社予想比：19百万円の増加 18.1%増）となる見込みであります。

経常利益につきましては、上記理由に加え当初市場金利の上昇による支払利息の増加を見込んでおりましたが、市場金利が上昇しなかったため、1億9百万円（当社予想比：49百万円の増加 82.1%増）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記の理由に加え中長期計画の見直しを行い、中長期での利益増加が見込まれることにより、当中間期において利益規模の増加傾向を踏まえた繰延税金資産に対する評価性引当金を見直し、法人税等調整額（益）61百万円を計上することとなり、1億28百万円（当初予想比：88百万円の増加 221.8%増）となる見込みであります。

(3) ご参考：前期の実績（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期（9/1～2/28）	3,999	93	82	△165
通期（9/1～8/31）	7,951	△19	△60	△442

### 3. 通期業績予想について

なお、平成20年8月期通期の連結・単独業績予想につきましては現在算定中であり、  
まとめ次第公表の予定であります。

注) 業績差異につきましては、本資料の発表日現在における諸前提に基づいて算出しており、  
実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上